

cStageIV胃・食道胃接合部癌に対して化学療法後に胃切除術を行った症例 についての治療成績とその治療効果および予後予測因子に関する研究

1. 研究の対象

2007年1月1日以降に当院にてcStageIVの食道胃接合部癌または胃癌と診断を受け、化学療法後に手術を受けられた患者さん

2. 研究の概要

研究期間:総長の研究実施許可日～2025年12月31日

研究目的: 当院にて上記の期間に治療を受けられた患者さんの治療成績を確認し、手術前の病状(癌の部位、大きさ、転移部位)や栄養状態、血液検査の結果などや患者さんそれぞれの因子(性別や年齢など)から治療効果や予後を予測する因子を検討し明らかにすることです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者情報(研究登録番号、年齢、性別等)、疾患情報(腫瘍の部位、転移部位・広がり)、既存の血液検査の結果や栄養学的指標、治療情報(手術や化学療法、術後の治療経過など)、化学療法の治療経過・効果、病理組織学的診断および治療成績(生存期間、再発・再増悪までの期間)等を用います。本研究では、化学療法後に胃切除を施行した患者の治療成績を検討し、上記の因子より治療効果や予後の予測因子を検討します。

患者さんの個人情報、研究登録番号を付与し対応表を用いて管理します。研究登録番号との対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

データは厳重に扱うこととし、施錠された保管庫やパスワードで管理された電子媒体等で保存します。尚、データの保管期間は「研究の終了について報告された日から5年を経過した日」または「研究結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日」のいずれか遅い日までの期間とし、利用したデータは手順にのっとり適切に廃棄します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 消化器外科 原 尚志

住所:〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話:06-6945-1181